

き い ぶ



平成25年（2013年）12月 第86号

平塚市図書館

文 学 賞 特 集

日本には現在、さまざまな種類の文学賞があります。今回は、代表的な文学賞をいくつかご紹介します。

☆芥川賞（芥川龍之介賞）

雑誌「文藝春秋」創刊者である作家・菊池寛が、友人の芥川龍之介（明治25（1892）年～昭和2（1927）年）が短編小説の傑作を多数生み出しながらも35歳で亡くなったことを惜しみ昭和10（1935）年創設。新聞・雑誌に発表された短編小説のうち、最も優秀なものに贈られます。無名もしくは新進作家の登竜門として、最も権威ある賞とされています。選考・発表は毎年1月・7月。



◀ ◎平成25（2013）年上半期 第149回受賞作
『爪と目』 藤野可織／著 新潮社
[所蔵館：全館 分類：一般・913.6]

◎平成24（2012）年下半期 第148回受賞作
『abさんご』 黒田夏子／著 文藝春秋
[所蔵館：全館 分類：一般・913.6] ▶



☆直木賞（直木三十五賞）

菊池寛が43歳で亡くなった作家・直木三十五（明治24（1891）年～昭和9（1934）年）の名を記念し、芥川賞と同時創設。無名・新進・中堅作家の、新聞・雑誌あるいは単行本の形で発表された大衆文芸作品中、最も優秀なものに贈られます。選考・発表は毎年1月・7月。



◀ ◎平成25（2013）年上半期 第149回受賞作
『ホテルローヤル』 桜木紫乃／著 集英社
[所蔵館：全館 分類：一般・913.6]

◎平成24（2012）年下半期 第148回受賞作
『等伯』（上・下） 安部龍太郎／著 日本経済新聞出版社
[所蔵館：中央・北・南・BM 分類：一般・913.6] ▶



『何者』 朝井リョウ／著 新潮社
[所蔵館：全館 分類：一般・913.6] ▶



中央図書館では文学賞受賞作品を展示します。

（期間：平成26年1月 5日（日）～1月30日（木））

★そのほかの主な文学賞と、受賞作の一部をご紹介します。★

☆大宅壮一ノンフィクション賞

大宅壮一のマスコミ活動を記念し昭和44（1969）年制定。新人ノンフィクション作家の発掘、優れたノンフィクション作品の紹介に貢献しています。

◎平成25（2013）年 第44回受賞作

『カウントダウン・メルトダウン』（上・下） 船橋洋一／著 文藝春秋



[所蔵館：中央・北 分類：一般・543.5]
世界を震撼させた東京電力福島第一原発事故。福島原発事故独立検証委員会（「民間事故調」）を指揮・プロデュースした著者が、調査後も独自に取材を続け、あの極限状況下で誰がどのように動いたかを描いた、ノンフィクションです。

☆山本周五郎賞

大衆文学・時代小説の分野で活躍した山本周五郎にちなみ、物語性に優れた小説・文芸書に贈られます。主催は新潮文芸振興会、後援は新潮社。純文学を主とする三島由紀夫賞とともに昭和63（1988）年に創設されました。

◎平成24（2012）年 第25回受賞作

『楽園のカンヴァス』 原田マハ／著 新潮社

[所蔵館：全館 分類：一般・913.6]

ニューヨーク近代美術館の学芸員ティムは、スイスの大邸宅で巨匠アンリ・ルソーの名作「夢」と瓜二つの絵を目にしていた。絵の真贋を巡り日本人研究者、早川織江との間で火花を散らす一。



☆川端康成文学賞

川端康成を記念し昭和49（1974）年に創設。本人のノーベル文学賞の賞金を基金とし、優れた短編小説に対して贈られます。川端康成記念会主催。

◎平成24（2012）年 第38回受賞作

『犬とハモニカ』 江國香織／著 新潮社

[所蔵館：全館 分類：一般・913.6]

空港のロビーに集まった、年齢も国籍も様々な男女の心のふれあう瞬間を鮮やかに描いた表題作「犬とハモニカ」のほか、美しくどこか幻想的な文章で綴った6つの短編を収録しています。



☆横溝正史ミステリ大賞

金田一耕助でおなじみの探偵作家横溝正史にちなみ未来のミステリ作家を広く発掘するため角川書店が1980（昭和50）年に創設した賞で、現在33回目。

◎平成7（1995）年 第15回受賞作

『RIKOー女神（ヴィーナス）の永遠ー』 柴田よしき／著 角川書店

〔所蔵館：北・南 分類：一般・913.6〕

警視庁新宿署刑事課の女刑事 村上緑子^{りこ}は、ある奇妙な事件を追っていた。捜査を極秘裏に進めていくうち、何者かに命を狙われ、警察内部の愛憎も相まってスリリングな展開が待っていた…。柴田よしきの、注目女流作家としてのその後の活躍を予見する一作。



☆日本推理作家協会賞

日本推理作家協会主催。前年に発表されたうち（既受賞者の作品を除く）の最高作に贈呈。「長篇及び連作短編集」、「短篇」、「評論その他」の3部門があります。

◎平成25（2013）年 第66回受賞作（長篇及び連作短編集部門）



『百年法』（上・下） 山田宗樹／著 角川書店

〔所蔵館：中央・北・南・BM 分類：一般・913.6〕

「不老化処置を受けた国民は、処置後百年をもって死なねばならない。」2048年、この百年法がいよいよ施行される時が近づいた。実現に向けて奔走する官僚に対し、首相は施行するか一時凍結するかを国民投票に委ねた。そして、その結果――。

☆日本SF大賞

日本SF作家クラブにより、昭和55（1980）年創設。小説・評論のほか、漫画、イラスト、映像、音楽など、ジャンルやメディアを越えて授賞されます。

◎平成22（2010）年 第31回受賞作



『日本SF精神史ー幕末・明治から戦後までー』 長山靖生／著 河出書房新社 〔所蔵館：中央・南 分類：一般・910.26〕

日本SFの歴史は150年前の幕末に始まると定義し、出版当時未来小説、空想科学小説などと呼ばれた様々な小説と作家を紹介し、SFというジャンルが確立するまでの流れをたどります。平塚に住んでいた作家・村井弦斎も取り上げられています。

※特集内の参考・引用文献 『最新文学賞事典 2004 - 2008』 日外アソシエーツ

『現代日本文学大事典 増訂縮刷版』『日本現代小説大事典』 明治書院 他



ご意見ありがとうございます



図書館内に設置している意見箱にいただいたご意見と、図書館からの回答を紹介します。

ご意見	回 答
飲食禁止のはずなのに、お菓子をボリボリ食べている子がいました。注意もされずとても不愉快です。	図書館内は資料の汚れを防止することなどから、アメ・ガムを含め飲食禁止となっています。(夏季に限り熱中症防止のため、閲覧スペース外(玄関ホール等)で水分補給はしていただけます。)今回職員が目が行き届かず申し訳ございません。館内巡回し、注意に努めてまいります。
漫画を増やしてほしい。〇〇コミックスとかがいいです。	図書館では漫画のうちコミックは、寄贈本以外は図書館の本として登録していません。ご了承ください。
本の背表紙に貼ってあるラベルが残念なことに著者名の上についていることが多く、とても見づらいです。 	図書の背ラベルについて、著者名にかかって貼付していることも多く、ご不便をおかけしています。 図書館では、背ラベルの分類番号で本の探索や整理をすることが多いため、背ラベルを貼る必要があります。すぐにラベルを変更することはできませんが、将来ラベルを小さいものに変更できないか検討いたします。
定期購読本(雑誌)について、時々見直してください。継続して置いています。貸出状況によって取りやめ、新しく人気のある雑誌に変更してください。	図書館の雑誌は、利用が多いものを入れることももちろんですが、「知りたい」というご要望や調査研究への対応も大きな役割となっています。幅広いニーズに応えるため、様々な分野をそろえる必要があります。そうした考えに基づき、利用頻度だけでなく、予算や同ジャンルの雑誌の発行状況を参考に、購読雑誌を毎年見直しています。雑誌についてのご要望は、参考意見として受付いたします。お気軽にお申し出ください。

中央図書館 〒254-0041 浅間町 12-41 Tel 0463-31-0415 Fax 0463-31-9984	北図書館 〒254-0013 田村 3-12-5 Tel 0463-53-1232 Fax 0463-53-1261	西図書館 〒254-0911 山下 760-3 Tel 0463-36-3555 Fax 0463-36-7230	南図書館 〒254-0813 袖ヶ浜 20-1 Tel 0463-21-3080 Fax 0463-21-5181
--	---	--	--

ホームページ: <http://www.lib.city.hiratsuka.kanagawa.jp/>

メールでのお問合せは、ホームページの中にある「お問合せ」のフォームでお送りください。

きいぷ 86号 編集・発行 平塚市中央図書館 発行日 平成25年12月1日